

## 報告書

1. 事業名： 8020健口フェスティバル
2. 申請者名： 愛知県歯科医師会  
代表者：会長：宮村一弘
3. 実施組織： 主催：愛知県歯科医師会  
共催：中日新聞社、愛知県栄養士会、愛知県歯科技工士会  
愛知県歯科衛生士会  
後援：農林水産省東海農政局、愛知県、名古屋市、  
愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、  
NHK名古屋放送局、愛知県健康づくり食生活改善  
協議会  
協賛：オーラルケア、小林製菓、ジョンソン・エンド・ジ  
ョンソン、ティーアンドケー、東京歯材社、ロッテ
4. 事業の概要： 県民の健康意識が高まっている今日、歯の健康と食育を県民と共に  
考えて、歯科に触れて、見て、聞いて体験して歯科医療及び愛知県  
歯科医師会の事業について知ってもらい、楽しみながら8020  
推進事業に関心を持ってもらう事業。  
11月12日（日）愛知県歯科医師会館で開催。
5. 事業の内容： ①「表彰式典」  
（愛知県知事感謝状、愛知県歯科医師会会長表彰、愛知県科  
保健文化賞、図画ポスター表彰、中日新聞社賞《8020 特別表彰》）  
②料理研究家 カーリー西條さんの食育講座  
③中日新聞社常務取締役編集担当 小出宣昭氏の食育講演  
④中京大学教授 湯浅景元教授の講演「歯と食とスポーツの講演」  
⑤クイズ：「みんなで参加しよう、知って得する歯と食とスポーツの関係」  
⑥ブース展示  
（農林水産省東海農政局、愛知県健康づくり食生活改善協議会、  
愛知県栄養士会、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会、  
歯科診療車、ティーアンドケー株式会社、歯の博物館  
愛知県歯科医師会DNA保管委員会、人形劇  
愛知県歯科医師会学校歯科保健部）  
⑦スタンプラリーと抽選会（各ブースを回る）

#### 6. 実地後の評価

来場者には講演を通して食育の重要性がよく伝わり、その為には自分の歯を健康に保っていく事が大事であると理解してもらえた。また、80歳で20本以上の歯を保つには、どうしたらいいかという歯科保健についても来場した県民に十分にPRできた。事業の目的である、歯科に触れて、見て、聞いて、体験してもらう事ができた事業であった。安全管理対策も万全で事故トラブルもなかった。

#### 7. 今後の課題

来場者が当初の目標の2,000人より下回り1,000人弱であった。来場しやすい日時の設定、来場しやすい場所での開催、また人が集まる場所での開催が必要である。子ども向けのイベントも1つは必要であったと考えられる。